

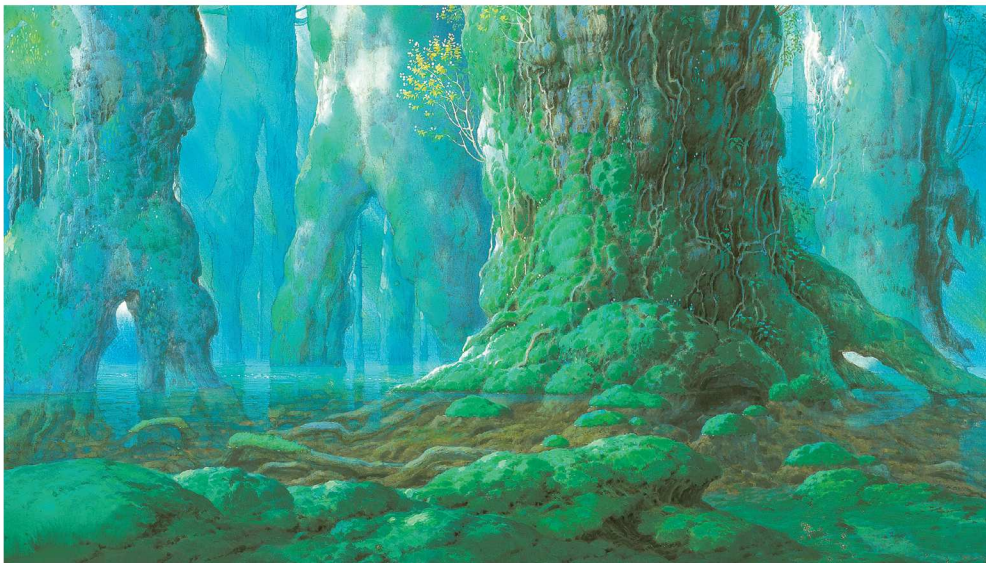
開館40周年記念特別展 アニメーション「美」の創造者

# 新・山本一二三展

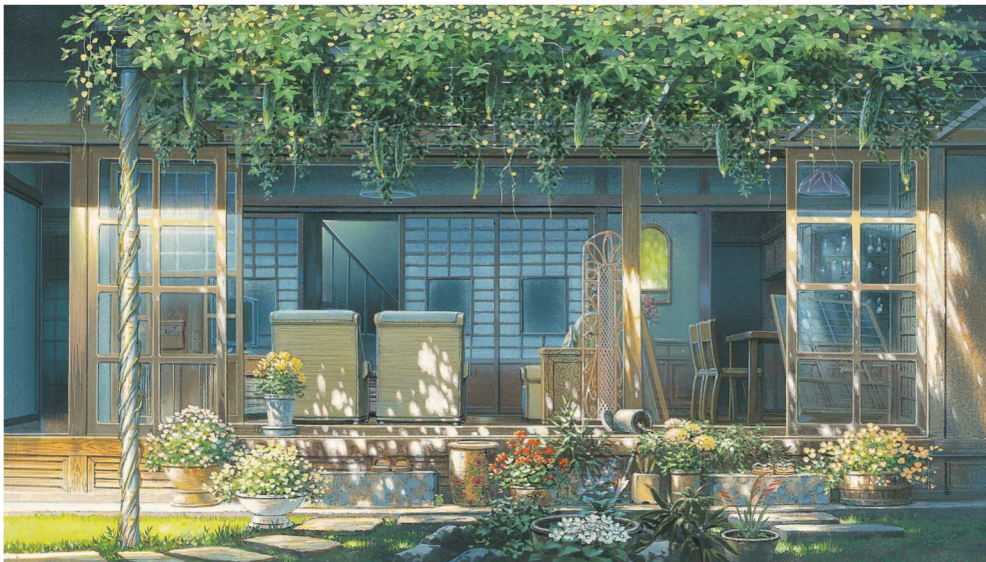
天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女



天空の城ラピュタ《荒廃したラピュタ》部分図 1986年 © 1986 Studio Ghibli



もののけ姫《シン神の森(5)》部分図 1997年 © 1997 Studio Ghibli・ND



時をかける少女《ゴーヤ棚》部分図 2006年 © 「時をかける少女」製作委員会2006

会期 11/19 SUN ⇒ 1/21 SUN  
2023 2024

下関市立美術館

SHIMONOSEKI CITY ART MUSEUM  
山口県下関市長府黒門東町1-1 TEL083-245-4131  
1-1 Chofu-Kuromon-Higashimachi, Shimonoseki, Yamaguchi, Japan

開館時間 9:30~17:00 休館日 月曜日 (祝日の1/8は開館)  
(入館は16:30まで) 年末年始 (12/28~1/1)

観覧料 一般 1,400円 (1,200円) 大学生 1,200円 (1,000円)  
※( )内は平日料金。※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。  
※下関市内在住の65歳以上の方は半額。

【主催】下関市立美術館・読売新聞社・KRY山口放送  
【協力】絵映舎・日電電工  
【企画】神戸新聞社  
【協賛】山口県総合芸術文化祭 2023・BOAT RACE 下関・(公財)下関市文化振興財団







ルパン三世 PART 2《アルパトロス、翔ぶ》部分図 1980年 原作:モンキーパンチ © TMS

## 開館40周年記念特別展

# アニメーション美術の創造者 新・山本二三展

会期 11/19 SUN → 1/21 SUN 2023 2024  
休館日 月曜日(祝日の1/8は開館)  
年末年始(12/28 ~ 1/1)



火垂るの墓《裏通り》部分図 1988年 © 野坂昭如/新潮社,1988

### 観覧料

一般 1,400円 (1,200円) 大学生 1,200円 (1,000円)

※( )内は平日料金。

※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校在学の生徒は無料。

※下関市内在住の65歳以上の方は半額。

## MASTER OF ANIMATION ART NIZO YAMAMOTO

「天空の城ラピュタ」「火垂るの墓」「もののけ姫」「時をかける少女」など、誰もが知る名作アニメーションの背景画を手がけた山本二三。本展では、山本がこれまでに手がけてきた初期から最新作までの背景画のほか、制作の過程で生み出される未公開のイメージボード、制作用具など約220点を一堂に展覧します。

### 第1章 冒険の舞台

山本が弱冠24歳で初の美術監督をつとめた「未来少年コナン」や、飛行石と空に浮かぶ伝説の島をめぐる「天空の城ラピュタ」など、主人公がめぐる冒険の舞台となる世界をお楽しみください。

### 第2章 そこにある暮らし

戦争がテーマとなった「火垂るの墓」や、タイムリープの能力をもつ少女の物語「時をかける少女」といった、暮らしの息遣いを感じさせる街や家屋などの表現をご紹介します。

### 第3章 雲は語る

季節や天候によって、さまざまな形に姿を変える雲。その一瞬をとらえた描写は、「二三雲」と呼ばれ、山本の代名詞ともなりました。本章では彼の魅力的な雲の描写に注目します。

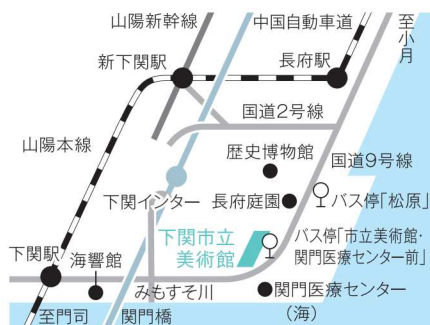
### 第4章 森の命

自然と人間の関係がテーマである「もののけ姫」。山本は、「シシ神の森」の世界を表現するために、鹿児島島の屋久島へ取材に出かけ、古代の神々がすまうような、観る者に迫りくる空間を表しました。「もののけ姫」をはじめとした、森の生命を感じさせる瑞々しい描写をご堪能ください。

### 第5章 忘れがたき故郷

山本の出身地である五島列島を描いた「五島百景」は、2010年からライフワークとしてはじまり、約10年をかけて完成しました。アニメーションの背景画を50年描いてきた山本の技術と、故郷への想いが込められた、美しい風景の数々をご覧ください。

### 交通案内



#### バス(サンデン交通)

- JR下関駅から(約20分)  
長府・小月・宇部方面行→「市立美術館・関門医療センター前」下車すぐ
- JR新下関駅から(約25分)  
「マリンランド」または「下関駅」行→「松原」下車、徒歩3分
- JR長府駅から(約15分)  
「長府駅」または「長府駅前」バス停から  
「下関駅」行→「市立美術館・関門医療センター前」下車すぐ

#### 自動車(9号線沿い、関門医療センター向かい)

中国自動車道・下関インターチェンジから「壇ノ浦」方面に進み、国道9号線合流点を左折して約5キロ

下関市立美術館は2023年11月19日に開館40年を迎えます。これを記念して様々なイベントを予定しています。

- ◇下関市文化振興財団との共催によるイベント
- ◇東亜大学との連携による会期中イベント  
トークイベント「アニメーションについて語る」  
2023年12月Zoomにて開催予定
- ◇その他解説会、ギャラリートークなど

※詳しくは「美術館ホームページ」をご確認ください。

ご来館の  
皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱、咽頭痛、咳など体調がすぐれないお客様は、来館をお控えください。皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 下関市立美術館

SHIMONOZEI CITY ART MUSEUM

山口県下関市長府黒門東町1-1 TEL083-245-4131

